

## 第7回 JAT 新人翻訳者コンテスト 英日部門

### 課題文

#### [The PM's Press Release About Carbon Farming Campaign Media Release](#)

\*\* ここから訳してください\*\*

PRIME MINISTER  
MINISTER FOR CLIMATE CHANGE, ENERGY EFFICIENCY AND WATER  
MINISTER FOR AGRICULTURE, FISHERIES AND FORESTRY

#### CARBON FARMING INITIATIVE

Farmers who help reduce and store pollution will receive credits that can be sold in Australia and overseas under a new Carbon Farming Initiative to be set up by the Gillard Labor Government.

The initiative will provide new opportunities for Australian farmers and landholders to participate in lucrative international markets for carbon credits.

For the first time, the Federal Government will help facilitate the sale of carbon credits on domestic and international markets to ensure Australian farmers and landholders can take advantage of the opportunities available.

Tapping into these existing markets will give farmers and landholders the ability to find the best price available on the market for their carbon credits.

This initiative is fiscally responsible as the market will choose the most efficient and cost effective ways to reduce pollution and pay for it, rather than the Government picking winners and forcing taxpayers to bear the cost.

Farmers and landholders will benefit from a new income stream, and the environment will benefit from reduced pollution.

There will be no restriction on the number of credits that can be generated, with initial conservative estimates suggesting it could be worth about \$500 million over ten years.

At present, there is no uniform way for farmers, forest growers or landholders to generate carbon credits and sell them into lucrative international markets.

Under the Carbon Farming Initiative, a Gillard Labor Government would legislate clear rules for the recognition of carbon credits that could then be sold on domestic or international markets.

This means farmers will know in advance exactly what they need to do to generate credits that are internationally recognised and available for trading.

A re-elected Gillard Labor Government will provide farmers, landholders and forestry growers with the tools to understand how to generate carbon credits.

As part of this, Landcare, the trusted volunteer organisation which has been working with Australian farmers for the past 21 years, will be funded to provide information on how farmers can further benefit under the initiative.

The initiative will also help link farmers, land managers and forestry operators with brokers, who could sell their credits on the domestic or international market.

This will allow farmers to keep doing what they do best, while also connecting them with those who have the monitoring and carbon retail know-how.

The Gillard Labor Government has already started work on setting out clear definitions about how credits can be created. These methodologies are expected to be rolled out from mid 2011.

Eligible methodologies that are expected to be settled in the early years of the scheme include reforestation, as well as projects that avoid or reduce emissions from:

- Livestock.
- Fertiliser use and manure management.
- Savannah burning.
- Legacy waste in landfills.
- Deforestation.

As part of this initiative, the Gillard Labor Government will work at home and abroad to support further research on soil carbon and biochar. This will build on the \$20 million Climate Change Research Program.

The \$45.6 million cost of the Carbon Farming Initiative is already included in the Budget, through the Renewable Energy Future Fund.

\*\* ここまで訳してください\*\*

NSW

14 AUGUST 2010

COMMUNICATIONS UNIT: Phone: (02) 9384 2220 | Fax: (02) 9264 2213

[www.alp.org.au](http://www.alp.org.au)

## 最終候補作品

英日部門では、次の7作品が最終審査に進みました (J18, J30, J31, J36, J40, J43, J46)

### Entry J18

首相

気候変動・エネルギー効率・水担当大臣

農林水産大臣

カーボンファーマーミング構想

ジラード首相率いる労働党政権の新政策「カーボンファーマーミング構想」により、二酸化炭素の削減や貯留に貢献した農家が、オーストラリア国内外で売却できるクレジットを受け取れるようになります。

オーストラリアの農家や土地所有者が、収益性の高い炭素クレジットの国際市場に新たに参入できるようになります。

国内外の市場で炭素クレジットを容易に売却できるようにして、国内の農家や土地所有者が機会を活かせるようにするのは、連邦政府にとって初めての取り組みです。

既存の市場に参入することで、農家や土地所有者は、保有する炭素クレジットの市場での最高価格が分かるようになります。

この構想は財政的にも妥当なものです。政府が勝者を選び納税者にコストを負担させるのではなく、最も効率的かつ低コストで二酸化炭素を削減できる方法が市場で選ばれ、資金が提供されるのです。

農家や土地所有者にとっては、新しい収入源を得られるというメリットがあり、環境にとっては、二酸化炭素が削減されるというメリットがあります。

発行できるクレジットの数に上限はなく、当初の推計では、少なくとも今後 10 年間で 5 億ドル相当のクレジットが発行されると見込まれます。

現在は、農家や林業者、土地所有者が炭素クレジットを発行して、収益性の高い国際市場で売却する方法が統一されていません。

カーボンファーム構想では、政府が炭素クレジットの認定方法を明確に規定することで、クレジットを国内外の市場で売却できるようになります。

つまり、国際的に認められ、取引可能なクレジットを発行するために何が必要か、あらかじめ正確に分かるようになるのです。

再選されたジラード労働党政権は、農家、土地所有者、林業者向けに、炭素クレジットの発行方法を解説した資料を用意します。

その一環として、オーストラリアの農家のために 21 年間活動してきた信頼できるボランティア団体の「ランドケア」に、カーボンファーム構想で農家が得られるメリットについての広報を委託します。

また、この構想では、農家、土地所有者、林業者と、クレジットを国内外の市場で売却する仲介業者との連携も促進します。

これにより、農家が自分の仕事に専念しながら、市場の動向に詳しく、排出権取引のノウハウを持つ業

者を活用できます。

ジラード労働党政権は、既にクレジットの発行方法を明確に規定する作業に着手しています。新しい規定は2011年中頃から適用される予定です。

当面、クレジットの発行が認められるのは、植林のほか、次のものからの二酸化炭素排出を無くすか削減する事業になる見込みです。

- ・家畜
- ・化学肥料の使用や堆肥の管理
- ・草原の野焼き
- ・埋立地の残留廃棄物
- ・森林伐採

カーボンファーミング構想では、国内外での土壌炭素やバイオ炭の研究を進める支援も行います。これは、「気候変動研究プログラム」の予算2000万ドルを利用して実施されます。

構想の実現に必要な4560万ドルは、再生エネルギー未来基金を活用して既に予算化されています。

## Entry J30

オーストラリア連邦首相  
気候変動・エネルギー効率・水資源大臣  
農林水産大臣

カーボン・ファーミング構想

ジラード労働党政権が新しく定めるカーボン・ファーミング構想は、汚染の削減と貯留に貢献した農業従事者に対してオーストラリア国内および国外で販売可能なクレジットを付与するものである。

本構想により、オーストラリア国内の農業従事者や土地所有者にとっては有利な国際炭素クレジット取引市場に参加する好機となるだろう。

オーストラリア国内の農業事業者、土地所有者が機会を有効活用できるよう、連邦政府は今回初めて炭素クレジットの国内および国際取引市場での販売促進を図る。

このような既存の取引市場を活用することで、農業従事者や土地所有者は所有する炭素クレジットを市

場の最高値で販売することができる。

本構想においては、最も効率的でコストパフォーマンスの高い汚染削減方法の選択、またその対価の支払いが市場によって行われる。そのため、政府が選択を行い納税者がその費用負担を強いられる方式と異なり、財政的信頼性の高い制度となっている。

農業従事者や土地所有者にとっては新たな収入源というメリットが、また環境面においても汚染削減というメリットがもたらされることになる。

付与されるクレジット数に制限はなく、当初の見積りでは少なくとも 10 年間で 5 億ドル程度の価値が見込まれている。

現状では、農業従事者や林業従事者、土地所有者が炭素クレジットを取得し、これを有利な国際取引市場で販売する方法は統一されていない。

カーボン・ファーム構想では、国内および国際取引市場で販売可能となる炭素クレジットの認定について明確な規則がギラード労働党政権により定められる。

そのため、農業従事者は国際的に認知され取引可能なクレジットの取得方法についてあらかじめ正確な知識を得ることができるようになる。

再選を果たしたギラード労働党政権は今後、農業従事者や土地所有者、林業従事者に対し、炭素クレジットの取得方法を理解するためのさまざまな手段を提供していく。

その一環として、過去 21 年にわたりオーストラリア国内の農業従事者と連携してきた定評あるボランティア団体「ランドケア」に資金投入し、本構想の下で農業従事者がより多くのメリットを得る方法についての情報提供を依頼する。

本構想ではまた、農業従事者、土地管理者、森林生産者とブローカーとを結びつけるための支援も提供し、ブローカーを通じて所有するクレジットを国内および国際取引市場で販売できるようにする。

これにより農業従事者は、炭素のモニタリングと取引に関するノウハウを持つ者との接点を持ちながら、自らの専門業務を継続することができる。

ギラード労働党政権ではすでにクレジットの取得方法に関する明確な定義の作成を開始しており、この方法については 2011 年半ばから公開される予定となっている。

対象となる方法については本計画の当初数年間で取り決められる予定となっているが、森林再生だけで

なく、以下に関する排出停止または削減プロジェクトも含まれる予定である。

- ・家畜
- ・肥料の使用および堆肥管理
- ・サバンナの野焼き
- ・埋め立て処理場における在来廃棄物
- ・森林伐採

本構想の一環として、ギラード労働党政権では国内および国外における土壌炭素およびバイオ炭に関するさらなる研究を支援していく。これは 2,000 万ドル規模の気候変化研究計画に加えて行われるものである。

カーボン・ファーミング構想の費用 4,560 万ドルは、再生可能エネルギー未来基金を通じて政府予算にすでに計上されている。

## Entry J31

首相

気候変動・エネルギー効率問題・水資源担当大臣

農水林業大臣

炭素農業構想について

汚染物質の削減および貯蔵に協力する農場経営者は、ギラード労働党政府による新たな炭素農業構想において、オーストラリア国内および海外での取引が可能なクレジットを受取ることになります。

この構想は、国内の農場経営者や土地所有者が、利益性の高い炭素クレジットの国際市場に参加するための新たな機会を与えるものです。

最初は、連邦政府が国内外の炭素クレジットの市場での取引を促進する支援をし、農場経営者や土地所有者がこの機会をうまく活用できるようにします。

既存の市場への参加により、農場経営者や土地所有者は、炭素クレジットの市場での適正価格を知ることができるでしょう。

この構想は、政府が汚染物質の削減のための方法を選択し、納税者にその費用の負担を強いるのではなく、市場が最適で費用効果の高い方法を選択し、費用を支払うことになるため、財政上の責任を負うこととなります。

農場経営者や土地所有者は、新たな収入源を得ることができ、環境に関しては汚染物質の削減という利点があります。

発行されるクレジットの数に何らの制限はなく、初期の控え目な予想でも、10年で約5億ドルの市場規模となる可能性があると言われてしています。

現時点では、農場経営者や森林生産者、もしくは土地所有者が炭素クレジットを発行し、利益性の高い国際市場でそれを売却するための決められた方法はありません。

炭素農業構想において、ギラード労働党政府は、炭素クレジットの理解を図るための明確な規則を制定し、国内外の市場において売却できるようにします。

これにより農場経営者は、国際的にも認識され、取引が可能となる炭素クレジットを発行するために、何をする必要があるのかが、前もって分かるようになります。

再選されたギラード労働党政府は、農場経営者や土地所有者、そして森林生産者に対し、炭素クレジットの発行方法を理解するための手段を用意します。

その一環として、これまで21年にわたり、オーストラリアの農場経営者と共に活動してきた、信頼できるボランティア組織であるランドケアに助成金を出し、この構想の下で、農場経営者がどのようにして利益を享受できるかについて、情報を提供するようにします。

この構想においては、農場経営者、土地所有者および森林生産者と、国内外の市場において炭素クレジットを売却することができるブローカーとをつなぐ手助けも行います。

これにより、農場経営者は本業に専念することを可能とし、一方でモニタリング力や炭素の売買の知識を持つ人々と彼らを結びつけることができるのです。

ギラード労働党政府は、炭素クレジットの発行の方法に関し、明確な基準を設けるよう準備を始めています。これらの方法論については、2011年の半ばには動き始める予定になっています。

計画の初期段階において定められる予定の方法論には、再植林が含まれており、また以下のものからの排気の防止または削減も計画されています。

- ・家畜
  - ・肥料の使用および肥料の管理
  - ・サバンナの火災
  - ・ごみ投棄場の残留物
  - ・森林伐採

この構想の一部として、ギラード労働党政府は、国内外において、土壌炭素やバイオ炭の更なる調査を支援します。このために、地球変動調査計画を2千万ドル増額することになります。

炭素農業構想の経費である4,560万ドルは、再生可能エネルギー基金を通して、すでに予算に組み込まれています。

## Entry J36

首相

気候変動・エネルギー効率・水資源担当大臣

農林水産大臣

炭素農法イニシアティブ

ギラード労働党内閣が推進する炭素農法イニシアティブでは、温室効果ガスの排出削減と炭素貯留に貢献した農業者に対して、オーストラリア国内および海外で販売できるクレジットが発行されます。

オーストラリアの農業者・農地所有者へ、炭素クレジットの国際市場に参入する新たな機会を提供します。

農業者・農地所有者に機会を活用してもらうため、連邦政府は初めての試みとして、国内外の排出権取引市場における炭素クレジットの販売を助成します。

取引への参加により、農業者・農地所有者は、市場における炭素クレジットの適正価格を判断できるようになるでしょう。

イニシアティブでは、効果的かつ費用効率の高い温室効果ガスの削減方法が市場で選ばれ、値がつきます。行政が誰かを選び、納税者に費用を負担してもらうより、財政面においても確かな仕組みです。

農業者・農地所有者には新たな収入源をもたらし、環境面では温室効果ガスの削減を期待できます。

獲得できるクレジット数には上限を設けません。当初の試算では、少なくとも10年間で約5億オーストラリアドルの利益が見込まれます。

農業者・森林栽培者・農地所有者が炭素クレジットを取得し、国際市場で取引する制度は、今までありませんでした。

今後は炭素農法イニシアティブに基づき、国内市場・国際市場で取引できる炭素クレジットを認証する法的規定を設けます。

農業者がどのような条件を満たせば、国際的に通用するクレジットを獲得できるのか、あらかじめ分かるようにします。

また、農業者・森林栽培者・農地所有者に、炭素クレジットの獲得方法を理解していただくための対策を講じます。

対策のひとつとして、ランドケア（過去21年間、オーストラリアの農業者と共に活動を続けてきた信頼性の高いボランティア機構）に資金を供給し、イニシアティブに基づいた増収増益の情報を発信してもらいます。

農業者・土地管理者・林業者と、国内外の排出権取引市場で炭素クレジットを売買するブローカーとの橋渡しも行います。

モニタリングや炭素取引の専門知識を持つブローカーと連携することにより、農業者は本業に支障をきたすことなく、排出権取引に取り組みます。

ギラード労働党内閣では、クレジットの取得方法を定める作業に着手しました。2011年半ばには、公開できる見込みです。

森林再生をはじめ、以下の要因による排出を回避・削減するプロジェクトなど、クレジットを取得できる方法を、施策の早い段階で決定します。

- ・家畜
- ・化学肥料の使用と糞尿管理
- ・サバンナの火災
- ・廃棄物の埋め立て
- ・樹木の伐採

イニシアティブの一環として、土壌炭素とバイオ炭に関する研究の支援を、国内外で働きかけます。2000万オーストラリアドルを投じて、気候変動研究プログラムを創設します。

炭素農法イニシアティブに要する4560万オーストラリアドルは、再生可能エネルギー基金を通じて、既に予算を割り当てました。

## Entry J40

首相 気候変動・エネルギー効率問題担当大臣 農水林業大臣 カーボン・ファーミング・イニシアチブ  
ギラード労働党政府が新たに策定するカーボン・ファーミング・イニシアチブに沿って、二酸化炭素の削減と貯蔵を推進する農業従事者には、オーストラリア国内および海外で売却可能なクレジットが発行されます。このイニシアチブにより、オーストラリアの農業従事者や土地所有者は、利益の大きいカーボン・クレジットの国際市場へ新規に参入できるようになります。連邦政府は今回初めて、国内および国際市場でのカーボン・クレジットの売却を支援し、オーストラリアの農業従事者や土地所有者があらゆる機会を有効に活用できるよう万全な対応を行います。既存の国内外市場に参入することで、農業従事者や土地所有者は、所有するカーボン・クレジットの市場における最高価格を知ることができるようになります。このイニシアチブでは、二酸化炭素削減の最も効率的で費用効果の高い方法が市場で決定され、それに対して金額が支払われるため、政府が対象者を決定しその費用の負担を納税者に強いるよりも財政上合理的です。農業従事者や土地所有者は新たな収入源を得ることになり、また二酸化炭素が減少することで環境にも好影響をもたらします。創出されるクレジットの数量には制限を設けておらず、現時点では控えめに見積もっても今後10年間で約5億ドル相当になると推定されます。現在のところ、農業従事者、森林管理者や土地所有者がカーボン・クレジットを創出し、利益の大きい世界市場に売却する際の統一された方法がありません。カーボン・ファーミング・イニシアチブに沿

って、ギラード労働党政府は明確な基準を制定した上でカーボン・クレジットを認証し、国内および国際市場で売却できるようにします。つまり農業従事者は、国際的に認証され売買可能なクレジットを創出するために、具体的に何をすべきか事前に分かるようになります。ギラード労働党政府が再選された際には、農業従事者、土地所有者や森林管理者に対し、カーボン・クレジットの創出方法を知ってもらうための手段を提供します。その一環として政府は、これまで21年間に渡ってオーストラリアの農業従事者と共に活動を行ってきた信頼のあるボランティア組織、ランドケアに資金を供給し、このイニシアチブに沿って農業従事者が利益を上げるための情報を提供してもらいます。またこのイニシアチブによって、農業従事者、土地管理者や森林経営者と仲介業者との関係が促進され、業者は顧客のクレジットを国内および国際市場で売却できるようになります。そのため農業従事者は、本業はそのまま続けながら、カーボン・クレジット市場を見る目と売却の知識を持った人々との関係を維持することができます。ギラード労働党政府は、クレジットが発生する条件に関して明確な定義を策定するために、すでに作業を開始しています。その手法は2011年中頃より順次公表される予定です。クレジットが発生すると考えられる手法には、ひとつに森林再生、また以下の事項について二酸化炭素の発生を防いだり削減する計画があり、それぞれこの政策の早い時期に承認される予定です。●家畜。●肥料の使用と堆肥の管理。●サバンナ火災。●埋立て地の堆積廃棄物。●森林破壊。このイニシアチブの一環として、ギラード労働党政府は、土壌炭素およびバイオ炭に関するより一層の研究を国内外を問わず支援していきます。この方針は2,000万ドルの気候変動研究計画に基づくものです。カーボン・ファームリング・イニシアチブの費用4,560万ドルは、再生可能エネルギー未来基金を通じてすでに予算に計上されています。

## Entry J43

首相

気候変動・エネルギー効率・水資源担当大臣

農水林業大臣

### 炭素農業イニシアチブ

ギラード労働党政権が提案する炭素農業イニシアチブにより、汚染を削減し食い止めることに貢献する農家は、オーストラリア国内および海外で販売できるクレジットを取得することになる。

このイニシアチブにより、オーストラリアの農家と土地所有者は、高い収益が見込める炭素クレジットの国際市場に参加する新たな機会を得るだろう。

オーストラリア政府によって国内及び国際市場での炭素クレジットの販売が促進されるのは初めてであり、このことで、オーストラリアの農家や土地所有者は確実に炭素クレジット市場での機会を活用できるようになる。

既取引のなされている国内及び国際市場に進出すれば、農家や土地所有者は、自分たちの炭素クレジットが市場で得られる最良の価格を知ることが可能となる。

このイニシアティブのもとでは、もっとも効率的かつ費用対効果の高い汚染削減方法を市場が選択しそのコストを支払うことになるため、政府が対象者を選択し納税者にコストの負担を強いるよりも、財政面での信頼性が高い。

農家や土地所有者は新たな収入源によりうるおい、環境は汚染の削減により改善されるだろう。

発行されるクレジットの数に制限は設けられていないが、当初の試算では、向こう 10 年間で少なくとも約 5 億豪ドルになると見込まれている。

現在のところ、農家や林業従事者や土地所有者が、炭素クレジットを取得し収益性の高い国際市場で販売するための統一された方法はない。

この炭素農業イニシアティブのもとで、ギラード労働党政権は炭素クレジットを認証する明確な基準を法制化し、国内および国際市場での販売を可能にするであろう。

このことにより、国際的に認証され取引することが可能なクレジットを取得するために何をすべきかを、農家は前もって正確に知ることができる。

第 2 次ギラード労働党政権は、農家や土地所有者や林業従事者に対し、炭素クレジットを取得する方法を理解する手段を提供することになる。

その一環として、21 年にわたりオーストラリアの農家に協力し信頼を得ているボランティア組織であるランドケアが資金援助を受け、このイニシアティブのもとで農家がより恩恵を受けられるように情報提供する予定である。

さらに、このイニシアティブにより、農家や土地所有者や林業従事者と、国内及び国際市場でクレジットを販売できるブローカーとの結び付きが促進されるだろう。

したがって、農家は自分の仕事である農業に最善を尽くすことができると同時に、モニタリングや炭素販売のノウハウを持ったブローカーとの連携を保つこともできる。

ギラード労働党政権は、クレジットを発行する方法に関するより明確な定義の制定に向け既に着手している。これらの方法は、2011 年の中ごろに発表されると見られている。

対象となる方法は、この計画の初期に決定される予定である。それらの方法には森林再生や、下記のも

のからの排出防止または削減が含まれている。

- ・家畜類
- ・化学肥料の使用および有機肥料の取扱い
- ・サバンナの焼失
- ・埋立地の残留廃棄物
- ・森林伐採

このイニシアティブの一環として、ギラード労働党政権は、土壌炭素及びバイオ炭に関する更なる研究の支援に向け国内外で働きかけを行う予定である。これは 2000 万豪ドル規模の気候変動研究プログラムに基づいて行われる。

炭素農業イニシアティブの経費 4560 万豪ドルは既に予算に盛り込まれており、再生可能エネルギー基金を通じて支出される。

## Entry J46

首相

気候変動・エネルギー効率・水大臣

農業・水産・森林大臣

カーボン・ファーミング・イニシアチブ

汚染の削減または貯留を進める農業従事者は、ギラード労働党政府により設立予定の新カーボン・ファーミング・イニシアチブのもとで、オーストラリア国内および海外で販売可能なクレジットを受け取ります。

本イニシアチブは、オーストラリアの農業従事者および土地所有者に、高収益な国際炭素クレジット市場に参入する新たな機会を提供します。

国内農業従事者および土地所有者がこうした機会を確実に活用できるようにするため、初めて連邦政府が国内外の市場での炭素クレジット販売を促進させます。

現在あるこれらの市場を利用することで、農業従事者および土地所有者は、自身の炭素クレジットが市場で得られる最高価額を知ることができます。

本イニシアチブは、最も無駄が少なく費用効率の高い汚染削減方法を市場が選択し、それに代価を支払

うので、政府が勝者を選び出しそのコストを納税者に負担させるよりも、財政的に信頼性があります。

農業従事者および土地所有者は新たな収益の流れから利益を得られ、汚染が削減されることで環境にも利点があります。

生み出すことのできるクレジット数に制限はなく、当初の控えめな見積もりによれば10年間で約5億豪ドル相当とも考えられます。

現時点では、農業従事者、森林育成者、または土地所有者が炭素クレジットを生み出し高収益な国際市場で販売する方法として統一されたものはありません。

カーボン・ファーミング・イニシアチブのもとでは、ギラード労働党政府が法制化を行い、国内または海外市場で販売できる炭素クレジットの認定ルールを明確にします。

つまり農業従事者は、国際市場で認定され取引可能なクレジットを生み出すために正確には何をする必要がありますのかを事前に知ることです。

再選後のギラード労働党政府は、農業従事者、土地所有者、および森林育成者に対し、炭素クレジットを生み出す方法を理解するためのツールを提供します。

この一環として、どうすれば農業従事者が本イニシアチブにより更なる利益を得られるかという情報を提供するために、これまで21年にわたり国内農業従事者と共に歩んできた信頼の置けるボランティア組織ランドケアに資金が供給されます。

また本イニシアチブは、農業従事者、土地所有者、および森林経営者と、そうした人々のクレジットを国内あるいは海外の市場において販売することができるブローカーとの結びつきを促進します。

これにより、農業従事者は本業に従事しながら、モニタリングおよび炭素小口販売のノウハウを持つ人々と連携することができます。

ギラード労働党政府は、どうすればクレジットを作り出せるのかを明確に定める作業をすでに始めました。これらの方法論については2011年半ばより公表される予定です。

スキーム初期に適格な手順・方法が決定される予定であるのは、再植林や、以下による排出を防止または削減するプロジェクトです。

- ・ 家畜
- ・ 肥料の使用およびたい肥処理

- ・ サバンナ火災
- ・ 埋立地の過去廃棄物
- ・ 森林伐採

本イニシアチブの一部としてギラード労働党政府は、土壌炭素およびバイオ炭についての更なる調査に関し、国内外で援助に努めます。本調査は 2,000 万豪ドルをかけた気候変動調査計画に基づき行われます。

カーボン・ファーミング・イニシアチブのコスト 4,560 万豪ドルはすでに再生可能エネルギー・フューチャー・ファンドを通じ予算に組み込まれています。

## 審査結果

第 7 回新人翻訳者コンテスト（応募期間 2010 年 10 月 1 日～11 月 2 日）の英日部門には 52 人、日英部門には 42 人の応募がありました。

最終審査に進んだのは、2010 年 12 月 21 日に発表したとおり、英日部門 7 人、日英部門 5 人です（敬称略）。

英日部門

- J18 荒谷牧裕
- J30 小柳美夕紀
- J31 浅谷 健人
- J36 池田三希子
- J40 高野 正和
- J43 山田妙子
- J46 織田祐規子

日英部門

- E11 Monica Kassab
- E16 Zhian Khonsary
- E24 Sarah Disley
- E26 Dianne Kirk
- E34 Joseph Sem

最終審査の結果、入賞者は次のように決定しました。

英日部門

- 第 1 位 J46 織田祐規子
- 第 2 位 J43 山田妙子

日英部門

第1位 E16 Zhian Khonsary

第2位 E24 Sarah Disley

コンテスト実行委員

佐藤綾子

マーク・スティーブソン

## 審査講評

### 石原ゆかり審査員

今年は例年よりも多くの応募があったとのこと、大変喜ばしい限りです。最終選考に残った方々、おめでとうございます。上位に入った方もそうでない方も最終選考作品や講評をぜひ参考に、今後も実力を磨いていただければと思います。

今回は世間の関心が高い環境がテーマなので、当初は、資料も簡単にみつかるだろうし、訳しやすいと、予想していました。でも、題名にある「carbon farming」など日本語として定訳がない用語や、「farmer」、「government」、「burning」など文脈によって微妙な用語選択を問われるなど、見かけによらず一筋縄ではいかない内容だったと思います。

また、政策発表のプレスリリースであるということで、個人的にはその目的がきちんと反映されているかどうか最終的には1位と2位以下を分けた点でした。政府が進める政策なのに「される」といった受動的表現や「だろう」といった推測的な表現では意気込みが伝わってきません。文頭にあるように首相と他の大臣2名の連名で発表されているものなので（もちろんご本人が書いたわけではないですが）、売り込むまでには行かなくても、書き手の大臣たちのやる気が伝わる、魅力的な政策に聞こえるように訳せると良いですね。テーマの環境やオーストラリアについてのリサーチのみでなく、企業などの他のプレスリリースも読んでみられることをお勧めします。

プロが依頼される仕事には、企業のプレゼンテーション、顧客宛の手紙や製品紹介のパンフレットなどの営業関係の文書もあります。翻訳者は書き手が原文に込めたメッセージを完全に正確に代弁できることが求められます。たとえ意味は完璧に合っていたとしても、日本語で読んで、原文と同じような効果がなければ、納品物としての評価は低くなってしまいます。目的や意図に応じて用語や文体を使い分ける技術を身に付けていきましょう。

それでは上位 7 作品中、最終的に私が選んだ上位 4 作品について気になった点を以下に挙げます。

J30: 文章としてはまとまっています。「構想は、～ものである」は冗長的。「好機となるだろう」は推測調で自信がなさそうに聞こえます。「ギラード労働党政権により定められる。」これより前の部分は「政権が～する」という能動的な表現だったのに、ここでいきなり受動的になってしまいトーンダウン。「コストパフォーマンス」はまだちょっと口語的では? 「その対価の支払いが市場によって行われる」、「財政的信頼性の高い制度」は分かりづらいです。「そのため」はこの流れで使用する接続詞としては不適切です。「炭素のモニタリング」はモニタリングの対象が炭素であるかのように聞こえます。

J40: 前半はとても読みやすかったのですが、後半は気になる表現が多いです。「仲介業との関係が促進され〜」、「カーボン・クレジット市場を見る目」の部分は分かりづらいです。「政府が再選」は再選されるのは政府ではなく政権なので誤りです。クレジットには「創出される」よりは「発行」などの無機質な表現の方が良いと思います。「手法」はこの文脈にあっているか、国語辞典や類語辞典などで調べてみてください。

J43: 文章として良くまとまっていますが、動作の主体が曖昧な表現が多く、発表という、この文章の意図があまり出ていません。「市場での機会を活用」は「での」としたところがひっかかります。きちんと原文に基づくようにしましょう。「取引のなされている」は「取引がなされている」とするのが正しいです。市場は支払わないので「市場が...支払う」は誤りです。市場は日本語では無生物扱いなので、市場原理が働く、とか事象が発生するという意味合いが出るように、ここは受け身表現を使用するなどしても良いですね。「～だろう。」は推測調なので、自信がなさそうに聞こえます。「が資金援助を受け」は、誰が資金援助をするのかが曖昧です。「農業に最善を尽くす」は誤訳です。

J46:

文章としてまとまりもあり、プレスリリースとしては最終作品の中では一番意図が出ています。「新たな収益の流れから利益を得られ」は、「income stream」を直訳した印象です。「stream」は意味を感覚で掴めばよく、日本語としてはむしろ「収入源」の方が一般に分かりやすい表現になるかと。「ツール」は、IT 系の文書ではないので、政府の文書としては好ましくありません。「小口販売」は、この文脈では「小口」とわざわざ言わなくても良いのでは? 「スキーム初期に〜」は分かりづらいです。

この他、感じた点です。他の審査員の方となるべく重複しないようにしてみました・・・。

- プロはまず調べるので、役職名がリサーチされているかどうか、すぐに分かりました。政府官庁や企業の役職名はホームページなどで調べたり、依頼者に確認できる場合（できない場合がほとんどですが）は質問したりするようにしましょう。なお、脱線ですが、訳文にコメントを挿入するのはたいいていの場合禁止です。もし申し伝え事項があれば別のファイルを納品時に添付するなどしましょう。

- initiative: 応募作の中では「構想」が多数派でしたが、「構想」だけだと、「具体的に何か行動を起こす」という意味が出ない気がするのでいっそ「推進政策」としても個人的には良いと思いました。

カタカナでは「イニシアチブ」が主流だと思って調べたら一般には「イニシアティブ」もけっこう使われているようですね。

- **pollution:** 素直に「汚染」で良いと思ったのですが、もっと意味を取って「二酸化炭素」とか「温室効果ガス」と訳されていました。でもなぜ原文で「carbon」と言っていないのでしょうか？実務では、もちろん調査や読み込んだ上で、ですが、それでも確信がなければ原文どおり訳す方が安全だったりもします。
- **farmer:** 「農業従事者」には臨時の雇用者みたいな人も含まれると思うので、そういう人もクレジットをもらえてしまうのでしょうか？単に「農家」でもよいのでしょうか？
- **working with:** 簡単なようで訳しづらい言葉です。「協働」がさらっとうまく訳していた気がしました。
- 数字が 4 桁以上の場合は、コンマを入れた方が読みやすいです。
- 減点対象にしていませんが、基本的にレイアウトも原文どおりというのが実務翻訳では基本です。でも、矛盾してしましますが、こうした文章では「首相」などの名前は右寄せにした方が良い気がしました。

レベルアップのコツは練習です。これを機にいろいろな題材を翻訳してみてください。次回も今回以上に応募作が増えることを期待しています。皆さん、がんばってください！

## 千樹靖審査員

まずは参加された皆様お疲れ様でした。入賞された方おめでとうございます。入賞されなかった方も、自分の翻訳を 7 人の入賞者の翻訳と比較できる素晴らしいチャンスです。この機会にじっくり比較して参考にできるところを見つけてステップアップしてください。今回は昨年と比べると「変な日本語」が減ったように思います。そのため減点が全体的に去年より少なくなっています。今回は基本的に癖のない原文ですが、所々「難所」があります。こうした難所で減点の少なかった方が入賞を勝ち取られたと思います。以下にそうした「難所」について、その後に各翻訳についてコメントさせていただきます。

難所 1) 「大臣の名前」：これはリサーチの問題です。オーストラリア大使館のウェブサイトに「農水林業大臣」については明記されているので、それ以外の表記はリサーチ不足で減点としました。公職の役職名は十分リサーチしてください。

難所 2) 「CARBON FARMING」：辞書にありませんね。かといって産業翻訳ではあまり過激に創造（想像？）力を爆発させるのも問題です。まずは信頼できる資料で既存訳や定訳があるかどうかをリサーチして妥当な訳があればそれを使用し、なければ類似語の既存訳や定訳（この場合では「カーボンオフセットファーミング」や「低炭素農業」あたりでしょうか）をリサーチして、使用できる部分があれば使用するのが通常の手順ではないかと思います。このあたり、弁護士が判例を探すのに少し似ているかもしれません。今回は、「炭素農業/炭素農法」については、少し検索しただけで「CARBON FARMING」

と同義での使用例が見受けられないことがわかるので減点としました。

難所 3) 「generate」：「発行」「創出」「生み出し」と言う訳語は、単語単位でみると間違いではありませんが、「generate」の主体が「farmers」らであることを考えるとこれらの訳語が誤訳の原因になる不適切な訳語であることは明らかです。

難所 4) 「fiscally responsible」：皆さんの確かな日本語が思い浮かばず苦勞されたようです。文の構成でいろんな solution があるかと思いますが、どう直訳しても意味不明になるような言葉は意識に挑戦してもよいかもしれません。

難所 5) 「winners」：「勝者」「対象者」「誰か」では、意味が伝わらないと思います。「CARBON FARMING」のような新語や時事用語よりは、こういう表現が翻訳者の腕の見せどころだと思います。

難所 6) 「re-elected」：文章を理解するうえでそれが何時書かれたものかが重要になる場合の好例です。この文章は 2010 年 8 月 15 日発表の文章です。そして（少し検索すればすぐにわかりますが）第 2 次ギラード政権が発足したのは 8 月 21 日です。「\*曜サスペンス劇場」の 10 時 40 分ぐらいのベタな台詞みたいですが、賢い視聴者...もと注意深い翻訳者を目指す皆さんには、これ以上説明する必要は無いと思います。これを機会に原文がいつ書かれたものであるかにも注意して的確な時制表現を心がけてください。

難所 7) 「burning」：「火災」になってしまったら emissions の avoid/reduce どころではありませんよね。消火あるのみです。

難所 8) 「Legacy waste」：単語ベースではこれが今回のお題で一番やっかいな難所かもしれません。意味はこの文脈では「legacy waste (waste deposited in landfills before the start date of the CPRS 1 July 2011)」のようですが、簡潔にこれを日本語で言い表すのは難しいですね。環境省のペーパーの訳例が「遺産廃棄物」とあまり「いけてない」訳なので減点対象にはしませんでした。しかし、上記の定義をリサーチできなかつた方は、リサーチ不足ということで反省してください。実際の仕事であれば、英語での定義と環境省の既存訳をクライアントに提示して、相談の末訳語決定ということになるでしょうか。

難所 9) 「landfill」：「Legacy」に気を取られて多くの方が不十分な訳になっています。ミスを残してしまう 1 つのパターンとして一文もしくは一節に 2 ケ所以上難所がある場合に、ある難所だけに注意が集中してしまい、他の難所がおざなりにされる、または修正されないことが挙げられます。この場合皆さん「Legacy waste」にばかり注意して、「landfill」のミスが放置されたようです。

こうした難所で減点の少ない方が上位入賞者となったわけです。おめでとうございます。それでは次に各翻訳別のコメントに移りたいと思います。

#### J18

「ジラード首相」かなり痛いミスです。人名、その他固有名詞、数字は十分チェックしてください。一番気になるのは主語と述語の呼応が的確に処理されていないことです。「資金が提供される」→（何の資金が）誰によって？、「農家がクレジットを発行して」→誤訳です、「売却」→この文章構成だと売却の主体が政府であると誤解される可能性があります。「支援も行います。」→誰が？（主体の訳出がありません）。産業翻訳では複雑で凝った文章にする必要はありませんので、主節では「XXはXXする」従属節では「XXがXXする」を分かりやすく正確に訳すように心掛けてください。

#### J30

ところどころ粗い翻訳が残っています→「有利な」「好機」「販売促進」「炭素のモニタリング」「専門業務」。1st draft で荒削りの訳が残るのは仕方ありませんが、こうした箇所は推敲の過程で検出して修正できるような客観性を身につけてください。「だろう」については J43 の方のコメントを参照ください。

#### J31

部分的な誤訳が散見されます→「最初は」「市場規模」「方法論は動き始める」「地球変動」「増額」。また J18 の方と同様に主語と動詞の呼応が気になります。「発行」以外にも「情報を提供する」の主体が曖昧です。不適切な語彙選択（誤訳と判定される可能性もあります）としては、「控えめな」「つなぐ手助け」「人々と彼ら」「経費」などがありました。まずは原文の解釈の精度を上げるよう努力してください。

#### J36

細かい訳漏れが目立ちます→「lucrative」「existing」「re-elected Gillard Labor Government」「clear」。産業翻訳の基本は、（どこかのウィスキーと一緒に）「何も足さない、何も引かない」ですから、まずは自分の訳文に原文の meaning unit がすべて収まっているかを確認して丁寧な翻訳を心がけてください。誤訳としては、「助成」「値がつきます」「利益」「増収増益」「ことにより」「取り組みます」「埋め立て」「働きかける」「創設します」、不適切な語彙選択としては「いただく」「対策」「樹木」などがありました。

#### J40

「見る目」はちょっと使い方がずれています。こうした単純な言葉で構成された慣用句は上手く使うと効果大ですが、意味ずれを起こして失敗するケースが多いので「取扱注意」です（産業翻訳は「安全第一」です）。その他、誤訳としては「あらゆる」「現時点では」「関係が促進」、不適切な表現では「万全な対応」「発生する条件」「手法」「考えられる」等が挙げられます。

#### J43

違和感を覚えるのが「だろう」という表現です。日本の政策発表でも「XXだろう」という表現を何回も耳にしたら、「ちゃんとリサーチしてから発表すべき！国民をばかにしているのか！」と感じませんか？

どういう状況で使用されている文章かを考えて言葉を選択するように心掛けてください。産業翻訳では、「(話し手である)私は想像する」という意味以外では「だろう」という表現はあまり使用しないように思います。冗長な表現かつ意味が分かりにくい表現として「既に取りのなされている」が目立ちます。誤訳としては「農業に最善を尽くす」「焼失」「働きかけ」「支出される」、不適切な表現としては「食い止める」「うるおい」「市場が払う」「方法」などがありました。

#### J46

「この一環として、…」の文章は、素直に直訳しているにもかかわらず失敗した例です。英語とフレーズ単位で照らし合わせていくと問題ないようですが、訳文だけを読むとなぜ「情報を提供するためにランドケアに資金が供給される」のかがわかりません。原因は、英文解釈の時点で **meaning unit** の区切り方が適切でなく、その結果日本語のアウトプットで「提供」するの主体がランドケアであることが明示されなかったからと思われます。チェックの段階で細部に注意すると同時に全体の流れにも注意を払って、このような問題も解決できればさらに翻訳品質が上がると思います。素直な訳で好感がもてますが、「収益の流れ」「方法論」「スキーム」「知るということです」「援助に努めます」「現在あるこれらの」などは一工夫しないと意味が伝わりません。

以上、いつものことながらダメだしばかりで申し訳ありません（「褒め殺し」講評も機会があれば検討してみます）。少しでもお役にたつことがあれば幸いです。

### 藤村聖志審査員

#### 第7回新人翻訳者コンテスト英日部門最終審査講評

まずは、入賞されたお二方、おめでとうございます。今回、予備審査で絞りこまれた候補の最終審査ということで、基本的翻訳技術というよりも、翻訳としての完成度、つまり、実際に翻訳会社や直接のクライアントなりに提出できる翻訳草稿として仕上がっているかという点に重点をおいて審査しました。皆さんそれぞれ、原文内容は大過なく理解されているようですが、それを「誤訳なく」というよりも「誤解」なく日本語で表現するという段階で差がつかしました。課題文に含まれた無生物主語構文や「facilitate」「provide」といった英語独特の単語を日本語らしく表現するには、訳文を読む人間を意識した翻訳姿勢が必要ですが、この点、上位にランクされた方々が勝っていたかと思います。おしくも落選した候補作の中にも良い部分が散見されたのですが、全体としての完成度で苦杯を舐めた感があります。

以下、上位作品について簡単にコメントいたします。

J46: 全体的に日本文としての破綻がなく、すっきりと仕上がっています。私も含めて、上手に訳そうとするあまり原文内容をはしょってイメージだけで訳してしまう落とし穴にはまるがありますが、そういった「筆滑り」もなく、原文内容を余すところなくわかりやすい日本語で表現していると思います。ただ、6番目のパラグラフの「収益の流れから利益を得られ」は、少し浮いています。「income stream」

は「安定した収入」くらいの意味ですから他の作品にみられるようにあっさり「収入源」でもよかったのではないのでしょうか。そのため、「benefit from...benefit from...」と対句にしている原文著者のスタイルを訳文に表現できていません。結構カタカナが多いのも気になります。「本イニシアチブ」や「スキーム」は、あまり感心できないし、特に「スキーム」は唐突です。冠詞のない日本語で「スキーム」といきなり出てくると、「スキーム」が何を指しているのかピンとこないでしょう。

J43: この作品も、読みやすさと正確さのバランスが優れていると判断して推薦しました。余計な力みのない、無駄を省いた簡潔な訳文だと思います。特に、なんとか英文を頭から訳していこうという姿勢が見受けられ好感がもてました。難点をいえば、やはり、「モニタリング」や「炭素農業イニシアティブ」といった、カタカナ表現で丸投げした箇所が見受けられることです。「モニタリング」を使うなら「市場モニタリング」とでもしないと、何に対するモニタリングかがはっきりわからないままごまかしているとも受け取れます。また、「炭素農業イニシアティブ」よりは「炭素農業構想」のほうが（適訳かどうかは別として）、言葉のバランスとしてはまだましでしょう。

J40 全体的によくまとまっているのですが、第3パラグラフの「万全な対応」や第15パラグラフの「クレジットが発生する条件」は感心できません。「万全な対応」は「...help facilitate...」の処理に苦心した結果と思われますが、helpを生かしたければ「...の促進に乗り出し」などとすればどうでしょうか。また、「how credits can be created」を「クレジットが発生する条件」としたために、次のパラグラフで「クレジットが発生すると考えられる手法」という苦しい訳になっています。

あと、J30さんも上位に評価したのですが、第13パラグラフで、「who」が非制限用法になっているのを見て「famers...」を「who」の主語と見做して訳した節が見受けられます。「who」の前のコンマに目を付けたのは良かったのですが、やはりここは「brokers」を主語として、「本構想のもとで...結びつきが強まり、ブローカーは...」としたほうが素直な解釈だと思います。「支援を提供」という言い方も少し工夫のほしいところでした。あと、「もたらされる」とか「定められる」の受動態は、堅苦しい文献以外なるべく使わないようにしましょう。J36さんは、翻訳センスは悪くないのですが、はしょった訳や訳漏れが多いですから、自分の訳に惚れないように気をつけましょう。J31さんは、無生物主語の訳が不十分なのと、ところどころ日本語の揺らぎが見受けられるので、そこらへんを見直されてはいかがでしょうか。J18さんも、少し省略したり無理やり丸めこんだりする癖があります。原文に書いてある単語を逐一訳すのではなく全体の流れの中で訳文に生かす工夫をしてください。

訳語に関しては、他の審査員の方が詳細なコメントをされているようなので、特に付け加えることはありません。公平な審査をしたつもりですが、提出された訳文を読む一読者の視点から、少し自分の好みも入ったことは否定できません。新人の方々に一つだけ助言いたします。「英語らしい日本語」は「日本語らしい英語」と同じく商品にはなりません。原文をひきずったりはしょったりせずに素直な訳文を作れるように、英語と同じく日本語も大事にしてください。

-終-